

海外事務所 主な活動報告（令和5年11月）

《ワシントン州事務所》

11月4日、ワシントン州日本文化会館が日本の祝日に合わせて「文化の日」イベントを開催。同会館がワシントン州における日本語教育や日本文化発信等の拠点になっているため、例年、日本語学習者や日系人など、日本に関心のある者が多く参加することから、当事務所は兵庫県の観光PRを実施した。

また、大阪・関西万博についてのPRも実施したところ、万博開催を把握している者も一定数存在していたが、兵庫県が開催地に近接していることを知らない者も多かったため、引き続き、文化イベントも含めた様々な機会を通じて、兵庫県の観光PRに取り組んでまいりたい。

＜「文化の日」イベント＞

- 日 程 11月4日(土)
- 場 所 ワシントン州日本文化会館
- 参加者 約400人



観光PRブース

《パリ事務所》

国立ギメ東洋美術館の企画展「源氏の君の宮廷にて～千年にわたる日本の想像力」の内覧会を兼ねた開幕レセプションにおいて、兵庫の酒の試飲ブースを出展してPRを行った。

同美術館は世界有数のアジア美術コレクションを誇り、国内外に幅広い人的ネットワークを有している。

昨今の日本ブームを反映して、今回はフランス下院議長を始め、各界のVIP約400人が集まり、同館最大のセミナーホール（250人収容）に収まり切らないほどの大盛況であった。

また、同館ミュージアムショップでは、淡路線香の協同組合自社ブランド品等の、会期中の販売実現へとつながった。

＜国立ギメ東洋美術館「源氏物語」展のレセプションへの出展＞

- 日 程 11月20日(月)
- 場 所 国立ギメ東洋美術館（パリ市内）
- 来場者数 メディア、美術関係者、日仏交流関係者など約400人



レセプションの様子

《香港経済交流事務所》

神戸ビーフは海外で高く評価される一方、偽物と疑われる商品の流通が複数確認されている。ブランドが毀損され輸出機会を逸している可能性があり、ベトナムも例外ではない。

当事務所では、神戸肉流通推進協議会から依頼を受け、新たに神戸ビーフの提供を始めるベトナム・ハノイの高級日本食レストランが主催するお披露目イベントにて、本物の神戸ビーフをPRした。

イベントでは、「和牛着物ブッチャー」渡邊氏による神戸ビーフのサーロインとリブロースのカットショーが行われ、参加者から大変好評な様子であった。今後とも県産品等の販路拡大を目指す取組を支援してまいりたい。



カットショーの様子

＜神戸ビーフのプロモーション＞

○日 程 11月11日（土）

○場 所 **Wabi Premium Japanese Restaurant**（ベトナム・ハノイ市内）

○参加者 約50名（食肉流通事業者、レストラン関係者等）